

富山県鑿井協会 第9回定期総会

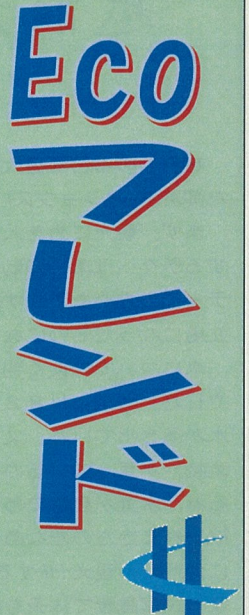


総会にて審議中の様子

- (議案)
- 第1号議案 平成15年度会議実施報告承認の件
 - 第2号議案 平成15年度事業実施報告承認の件
 - 第3号議案 平成15年度収支決算承認
 - 及び会計監査実施報告の件
 - 第4号議案 平成16年度退会会員承認の件
 - 第5号議案 平成16年度事業計画(案)承認の件
 - 第6号議案 平成16年度収支予算(案)承認の件
 - 第7号議案 平成16年度会費の額及び徴収方法決定の件
 - 第8号議案 その他

当日は、全協会員が出席し、8件の議案について審議が行われ、原案通り議決承認された。
また、定期総会終了後に懇親会が同会場において開催され、会員と賛助会員ら総勢22名が親睦を深め合った。

富山県鑿井協会第9回(平成16年度)定期総会を平成16年5月14日(金)開催した。
(於:太閤山カントリークラブ)



Sakusci As.
Vol.10

【発行】平成16年7月
富山県鑿井協会

〒930-0992 富山県新庄町一丁目十九番二号
☎(076)441-4257
Fax (076)441-4287
URL: http://www.atw.ne.jp/~tomisaku/
E-mail: tomisaku@atw.ne.jp

会 長	内山 祐治
副 会 長	土合 拓也
専務理事	土肥 勝則
理 事	丸田 勝文
監 事	土合 一弘

平成16年度役員

- 平成16年度事業計画
1. 関係官公庁への陳情及び要望の実施
 2. 正会員及び賛助会員の拡充
 3. 『井戸の日』実行委員会の設置
 4. 秋開催T S A G杯の実施
- 《総務部会》
1. 人材の育成
 2. 会員相互の親睦及び研修会の実施
 - ・かわら版の発行(年3回7・11・3月)
 - ・安全衛生講習会の実施
 - ・春開催T S A G杯の実施
 3. 電子納品の研修会
 - ・テーマ:『電子入札の経過と電子納品の取り組み』
 4. 昼食座談会(年3回)の実施(会費制)
- 《技術部会》
1. 設計・積算講習会の実施
 - ・エアーハンマー工法積算歩掛の作成
 - ・井戸管理マニュアルの見直し
 2. 技術講習会の実施
 - ・検査基準項目の講習会
 3. ホームページの維持管理



業界の発展を祈念し、万歳三唱する出席者の面々(懇親会場での様子)

平成十六年度安全大会

平成16年7月1日(木)午後1時30分より安全週間に合わせ、とやま健康パークセミナー室において平成十六年度安全大会が開催された。当日は正会員・賛助会員ら総勢18名が参加し、はじめに「職場における健康づくり」というテーマで健康パーク次長の櫻田氏より講義を賜った。生活習慣病の防止策や職場でのストレスから発生するうつ病の早期発見法などわかりやすく説明があった。また、健康パークで開催しているセミナー等についてもご紹介いただいた。

休憩を挟み、次に「電子入札の経過と電子納品の取り組み」というテーマのもと、講習が行われた。はじめに、㈱日東の能松氏より自社での取り組みの様子についての発表があった。引き続き、富山リコー(株)野上氏より電子入札・電子納品の方法について具体的な説明を受けた。最後に土木工事施工品質の向上について、チェックリストをもとにデイスカッションを行い、以上で安全大会のすべての講習を終了した。

- 安全大会実施内容—
- ◆講義
演題:「職場における健康づくり」
講師: 富山県国際健康プラザ・健康スタジアム次長 櫻田 惣太郎氏
 - ◆電子納品説明会
演題:「電子入札の経過と電子納品の取り組み」
講師: 富山リコー(株) 野上 朋恵氏
 - ◆県土木工事施工体制向上講習



安全大会での講義中の様子



*環境にやさしい再生紙を使用しております。

越前大野散策記

橘開発(株) 萩原 勝明氏

6月のある日曜日大野出身の知人に誘われて、名水百選に選ばれた御清水(オシヨウス)を中心とした大野見学に行ってきた。

まず、観光に力を入れていることで非常に驚かされました。見学する所々へは車で移動するが全ての駐車場は無料で又、観光ボランティアの方々も予約すればついてくれるという点で本当に観光客の立場になったものになっている。

水については良く判りませんが、御清水で飲んでみたが、旨い水でした。地上より82cm位下に水位があるとのことで、所々から水が湧き出ている。又、この水によって淡水型イトヨ(国の天然記念物)が育っているのも何となく判る気がしました。大野盆地である為、水量が豊富であり、昔から大切に水が守られて現在まで受け継がれてきたのだなあとと思う。皆さんもお時間がありましたら、(別に大野市の観光PRする気はありませんが…)越前・大野城・旧内山家の武家屋敷で抹茶を飲み、朝倉義景墓所・御清水・本願清水・寺町・七間朝市等ゆっくり散策されましたら…と思います。



御清水の風景



天然記念物のイトヨ

(社) 全国鑿井協会北陸支部情報

—平成十六年度通常総会開催の報告—

【日時】平成16年5月7日(金)午後1時30分

【場所】石川県土質研究協同組合

【議事】第1号議案：平成15年度会務並びに事業実施報告

第2号議案：平成15年度収支決算承認の件及び

会計監査実施報告

第3号議案：会員退会(正会員)報告

第4号議案：平成16年度事業計画及び収支予算(案)承認の件

第5号議案：その他

井戸は生き物!

内山鑿泉工業(株) M

私は2002年4月に入社、まだやっと3年目で、勉強中の身です。そもそも井戸の仕事を選んだきっかけは、実家に井戸があり、そこから興味が湧いて選んだというごく単純な理由からでした。実際にそういう仕事をしてみての感想は、ただ穴をほればよしというものではなく技術と経験を要する非常に高度な仕事だということでした!

掘る地域によって深さや水質が異なったり、水位の高さも季節によっては変わったり、などそれらを把握する知識も必要なのですが、実家にある割に、「何もしなかったのだな〜!」と痛感しました。

富山県は地下水がとっても豊富で数多くの井戸がありますが、同じものは2つとなく新旧、浅深、大小、さまざまです。最近ドライブしていても、さく井工事の現場がいち早く目に付くようになりました。井戸を掘っているんだよと説明してやります。井戸の事をもっとたくさんの人に知ってもらえるようにこれからも頑張っていきたいと思っています。

編集後記

驚異的な梅雨前線の停滞により、新潟・福井の両県が大量の降雨にみまわれました。河川が決壊し、広範囲にわたり浸水被害が発生しました。私たちに恵みをもたらしてくれる水ですが、反面災いに転ずる場合もあることをとすると忘れがちです。被災地の一日も早い復旧を心からお祈りいたします。

—総務部会—

地球環境主義に思う

内山鑿泉工業(株) 内山 祐治氏

私たちは「井戸の日」に開催する各種事業を通して井戸・地下水方面の先生方の力をお借りして普及活動をしてきました。私たちが扱っております井戸・地下水の現状・利用状況の把握、人との関わりから水環境・地域環境問題へと広がり、今回の記念フォーラム2004では南極の雪(氷床)から富山の雪〜地下水(水と暮らし)といった内容でしたが、地域生態系(富山の環境系)が大気大循環を通して雪氷圏(極域)につながるという地球気候システム〜地球環境問題へと関心が膨らんで参りました。

私ごとで恐縮ですが、今回の井戸フォーラムを北日本新聞エコマガジン「みどりさん」に掲載頂いた縁で、いきいきとやま「環境文化講演会2004」を聴講することが出来ました。講師の環境ジャーナリスト 村田佳壽子氏より地球環境問題・人口問題・食料問題・エネルギー問題の現状をお聞きしまして、私たちの母船である地球に暮らす生物の運命がどんなに危機的であり、切羽詰まった状況であるかを知り背筋が凍りつく想いでした。どの問題から優先すべきではなく、どれもこれも重要であり且つ、関連性が強くこれといった特効薬が見つからないということです。もっとも大切な問題は、この地球環境問題は我々人間が作り出した問題であり、この問題が深刻な事態にあるという認識を持ち、自ら進んで積極的に事実を知ろうとすること、ひとり一人の行動が社会を動かし社会を変えることが大事です。慣れ親しんできた大量生産・大量消費の浪費生活を改め、他人との比較ではなく“幸せとは? 豊かさとは? 自然とは?” 自分自身で考え、そして“自分はどうか”、根本的価値を見直し、人・社会は“競争の時代から協力の時代へ”変化し、地域生態系に合った生活を大切にすることです。

そして最後に、解決できるという希望のなかには、この大気大循環(低・中緯度から高緯度への大気循環過程と雪氷圏の役割等の地球気候システム)に鍵があるように思えてなりません。

- 私たちにできることは
- 1.地球環境問題が、深刻な事態にあるという認識を持つこと
 - 2.自ら進んで、積極的に事実を知ろうとすること
 - 3.地球環境問題は我々人間が作り出した問題である。だからこそ、我々人間が解決できるという希望を持つこと
 - 4.必ず解決しようという決意を持って、どんなことでも良いからそのための行動を起こす
 - 5.他の人にも伝え、協力しあう 意識改革…根本的価値を見直し自分自身で考える
 - ・幸せとは? 豊かさとは? 自然とは?
 - ・他人との比較ではなく、“自分はどうか”と考える
 - ・“競争の時代から協力の時代へ”
- 行動変革…意識改革後の新しい行動 自発的行動
- ・生き方や生活様式を見直し、変える
 - ・地域生態系に合った生活を大切にする
- [バイオリージョナリズム(地域生態系主義)]
- ・真実を知ろうとする
 - ・できることを続ける
- [My 箸をもつ、待機電力節電、意志表示(投票、署名等)etc.]
- ・他の人に話す

2005年『井戸の日』開催決定!!

来年のまだ先の話ではありますが、今年度事業のひとつとして翌年の『井戸の日』に記念講演等の事業を開催する事を決定した旨皆様にご報告いたします。

【開催日】

2005年(平成17年)1月10日

【開催場所】

とやま健康パーク

【テーマ】

富山の水と健康